

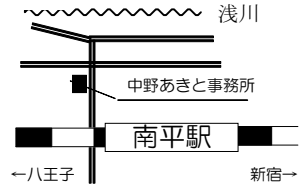


日本共産党市議会議員
中野あきと

みどりと清流



中野あきと事務所ニュース 発行責任者 小山敏正
〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)
(電話・FAX 042-599-3350)



生活相談など
お気軽に
お立ち寄り下さい
中野あきと事務所

<https://midoritoseiryu.skr.jp>

中野あきと6月市議会一般質問 区画整理の三つの問題点を問う

中野あきと市議は、6月議会の一般質問で、「日野のまちづくりとしての土地区画整理事業—その歴史的今日的な課題を踏まえ、打開策を提案する」と題して、市政に重大な影響を与えている区画整理事業の3つの問題点をただし、対応策を提案しました。

必要なかった代行買収 どうする土地買収費用21億円、維持管理費12億円

日野市が施行する4つ地区の区画整理事業を進めるに当たって市は、東京都の都市づくり公社に土地の代行買収を要請しました。中野市議はその正当性について追及担当部長は「現在、市として買い戻しが必要と判断している代行買収用地は「ございません」と答弁しました。

代行買収に関する諸費用は、総面積約1万平米の買収額が約21億円、その維持管理コストの累計額は12億円にも上っています。そもそも買収する必要のなかった土地を買収し、その上、26年間にわたってその土地を活用することなく放置。市は12億円もの債務を抱え込んでいます。

この問題の背景にも、河内久男元副市長の存在があり、全面的な検証を行って、原因と責任の所在を明らかにして、都市づくり公社との道理に立った協議で解決を図るよう提案しました。

川辺堀之内区画整理のメド立たない中、新たに3か所の区画整理組合立ち上げ

市はこの夏以降、市助成金を見込んだ3つの組合区画整理事業を立ち上げようとしています。中野市議は、市が策定した再発防止策に照らしても、財政困難に陥っている川辺堀之内区画整理の現状を踏まえても、立ち止まって考え直すべきだと迫りました。

河内元副市長問題の教訓から打ち出された再発防止策では、「今後、組合が施行する区画整理事業については、助成金を見込まない自力の資金計画をもって事業を運営していくことを前提とする」と定めたにもかかわらず、立ち上げようとしている3地区では、いずれも市助成金を負担したのとなつています。

財政的に厳しい川辺堀之内区画整理事業の状況を考えるならば、いま新たな助成金を入れるような組合施行を立ち上げるべきではありません。

困難を抱える川辺堀之内区画整理事業 原因と責任を明確にし道理ある解決を

川辺堀之内区画整理事業をめぐる不正では、3点の事実が明らかになっています。

●総額3億7500万円に及ぶ市助成金が河内元副市長らによって違法に詐取されたこと。

●総勢32人に及ぶ組合関係者が総額7億3600万円の不正な報酬を受け取っていたこと。

●一連の不正の背景に、河内元副市長の存在等によってチェックをやめてしまった市の対応など、市による不作為があったこと。

そうした乱脈とも言える事業運営の結果、いま、川辺堀之内区画整理事業は、3億8166万円(訴訟中の返還金も含む)に及ぶ収入不足・赤字を抱える事態となっています。

中野市議は、河内元副市長、日野市、東京都、組合役員の責任に言及しながら、第三者委員会等による一連の乱脈・不正の検証によって原因と責任を明らかにし、その責任に応じて収入不足への対応・解決を図っていくことが重要だと提案しました。これに対し大坪冬彦市長も、「基本的にその通り」「責任の取り方をしっかりとさせていきたい」(囲み)との見解を示しました。

「河内氏の責任、組合の責任、そして日野市の責任など、それぞれ述べていたのだ。その通りかなと基本的に思っている。第三者委員会を立ち上げて客観的にトレースした上で、それぞれの責任の所在を明らかにし、また事実説明をした上で、責任の取り方をしっかりとさせていきたい」



▲都知事選 ヤオコー南平店前の宣伝

東京都知事選挙得票結果 (上位3氏)

当選	小池百合子	291万8015票 (42.77%)
		(日野) 4万1940票
	石丸 伸二	165万8363票 (24.30%)
		(日野) 2万1887票
	蓮 舫	128万3262票 (18.81%)
		(日野) 1万9377票
投票率	東京	60.62% (前回55.00%)
	日野	62.34% (前回57.47%)

《連載》

不正問題を2度と繰り返さないために！
市政で起こったこと、そしてこれから

【第1回】プロローグ

市立病院での出来事、川辺堀之内区画整理事業、たかはた保育園の民営化事業など、不正、公共工事に係る官製談合問題、旧吹上保育園での虐待問題、そして北川原公園の違法搬入路問題などなど……。この数年間で市政をめぐる数々の不正が明るみにになりました。歴史的にも、全国的にも、ここまでの事態は、例がないのではないかと思います。

なぜ、こんなことになってしまっ

たのか。もちろん、その原因や背景は様々ではありませんが、それでも、政治的、組織的、あるいは構造的に共通する原因や背景はあるのではないかと思います。

一連の不正問題と向き合い、調査・解明に取り組んできた市議会の1人として、また国政、地方政治で、不正や違法とたたかい続けている日本共産党の1人として、個々の事案を振り返りながらその背景にも切り込み、これからの日野市政を一緒に考える機会になればという思いです。

少し長い期間の連載になりますが、お付き合いいただければ幸いです。

中野あきと

南平9丁目の緑地(竹林)で

大規模な開発事業が浮上

南平9丁目25番地の1に広がる緑地(竹林)で、開発区域面積7千617平方メートルの宅地造成構想が持ち上がった。6月に開催された事業者による市民説明会で判明したものです。

この地域は、第一種住居専用地域で10mの高さ制限がかかっていることから、130平方メートル以上の戸建て住宅用の区画を32区画整備する構想となっています。

この構想のことを知った市民からは、次のような様々な心配や疑問の声が上がっています。

●この丘陵地一帯が砂層地かつ土砂災害特別警戒区域で、昨今の気候危機・豪雨災害等による土砂災害等のリスクが高まるのではないかと。

●正面の竹林が開発の対象



●工事期間中の工事車両がヤコー前の交差点から進入する計画となっているが、交通渋滞や歩道の安全、住環境の悪化が心配される。

●開発区域内は行き止まり道路として整備されることとなっているが、火災などの防災・まちづくりの上でも、問題ではないか。

●地球温暖化・気候危機対策の上で重要な緑の保全・拡充に反して緑地(竹林)を削って宅地を造成する構想となっている。

なお、日野市では、まちづくり条例に次のように定められています。

①市民のまちづくりに関する権利

②市、事業者の責務

③大規模開発に関する住民参加による調整手続き

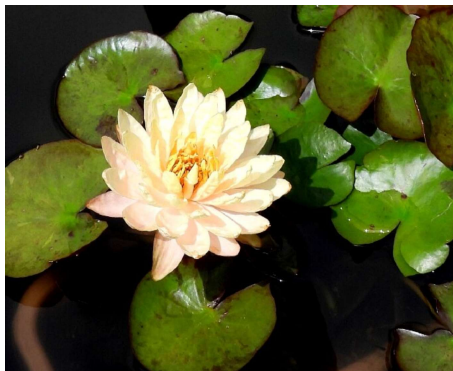
④市民参加で策定された『まちづくりマスタープラン』等を踏まえた『指導基準』に基づく協議及び適合審査

今後、こうしたルールを踏まえた協議・調整・審査が行われることになっています。



スイレンの花

南平6丁目(7月2日撮影)



危険!

桜の木

「根上がりで」

歩道がデコボコ

平山小学校周辺など街路樹の桜の根が歩道に隆起して、歩くのが危ないといった声が寄せられています。「根上がり」と言われる現象で、特に桜に見られる根の生育特性から起きるとされています。

現在、市の担当課に実態把握と対策の検討などを求めました。つまり、転倒する危険性もあり、再舗装するなどの対策が求められています。

(中野あきと事務所)

短信

ロースコアゲームが多い今年のプロ野球を巡って、サンデーモーニング・スポーツコーナーでの中畑清、落合博満、両解説者の論争を面白く聞いた▼中畑氏は飛はなくなったボールの原因説。落合氏はこれを真つ向から否定。ピッチャーの球が早くなっていることを指摘した▼打撃戦はプロ野球の華。ボールの反発力を変えるのも一案と中畑氏は言うが、時々都合でボールの質を変えるのは如何かと思う▼ファンが望むのは力と技の真剣勝負ではないのか。プロ野球は投高打低と打高投低を繰り返して進化してきた。150%後半の球でも打ち返す打者が増え、華々しい打撃戦が展開する時代もきつと来る

はずだ▼政治の世界も常に真剣勝負であってほしい。かつの首相、大平正芳氏も橋本龍太郎氏も、野党の質問に正面から答え緊張感のある論戦が見られた▼選挙戦でも勝たんがための術策が優先し、真剣勝負が陰をひそめてはいないか。都知事選挙では公開討論という真剣勝負の場が、現職欠席の理由で回避された。ならば出席可能な候補者同士で行い有権者に提供すべきだ▼プロ野球も政治の世界も、新しい力の台頭が望まれる。1人街頭に立ち、自分の主張を掲げる参加型の民主主義の形が杉並区長選で芽生え、都知事選挙では全都に波及した。苦い選挙結果を噛みしめながら、世直しの新しいうねりに力をもらった。(K)

こんにちは
都議会議員
清水とし子です

都知事選挙へのお力添えありがとうございました



7月7日投開票で行われた都知事選挙は、小池都知事が3選を果たし、蓮舫候補は残念ながら当選できませんでした。

蓮舫さんが公約に掲げた、公契約条例をつくって、都が発注する工事や委託事業などで働く人の賃金を引き上げること、さらに都が雇用しているスクールカウンセラーなど非正規雇用の方を正規雇用へに転換することは、東京を劇的に変える内容です。

神宮外苑の再開発や、五輪選手村跡地問題など、都内各地で進められている再開発の裏にある、財界と都の癒着の構造。蓮舫都政になったら、あの黒塗りの資料を公開させて、全部明らかにできると思いました。

有機フッ素化合物PFAS対策、英語スピーキングテスト中止など、蓮舫さんの公約はみんなの声で進化していきました。こういう都政が誕生したら、公共交通への支援も保健所の増設日野の市民の願い実現の道が開けてくると確信が持てました。

その蓮舫都知事が実現できなかったことは本当に悔しいですが、へこんでいる暇はありません。3期目の小池都政の問題点をだし、みなさんとの公約実現に向けて私も都議会でがんばります。

選挙戦のなかでお寄せいただいたお力添えに、心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

〔無料法律相談日〕 2024年9月

(お申込み) ☎042-582-1042
わたなべ三枝・清水とし子事務所

- 5日(木) PM6時~8時
岡田旬子事務所
- 12日(木) PM1時~3時
市役所6階共産党控室

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊 ●月3497円
日曜版●月 990円